

ぽれぽれ通信

5年越しの
議員立法の結果

1・2月号
vol.56



議員立法により 休眠預金を活用

本誌でも度々取り上げてきた
休眠預金だが、先ずは、簡単な

コロナ禍においても 活躍する休眠預金

おさらいから始めたい。休眠預金とは、10年以上、出入金等がない口座で所有者が所在不明の預金のことを指す。以前は、金融機関の私的利益とされ、直近10年間のトレンドを見ると、毎年約500億円が金融機関の私的利益となっていた。そこで、山本は、毎年発生するその莫大な休眠預金を金融機関の私

的利益とするのではなく、何とか世のため人のために活用することは出来ないだろうか、と、2013年(平成25年)から、ずっと法制化に向けて活動して

きた。先ず、山本は法案の立案を文字通りゼロから始めた。法案のたたき台となる骨子案を作ったからは、より多くの賛同者を集めるために2014年(平成26年)には、超党派による休眠預金活用推進議員連盟(以下、議連)を設立した。そして、議員立法「休眠預金活用法」の法案策定後は、自民党の党内手続きに東奔西走し、国会に法案を提案する際には筆頭提案者になり、南船北馬の活動であった。国会の審議では、全ての提案者を代表して山本が衆参両院ともに法案の趣旨説明を行い、質疑においては他の提案者たちと一緒に答弁に立つなど、この議員立法の成立に対して、まさしく先頭に立って活動したのであった。その活動ぶりは永田町界隈でも知れ渡っており、2016年(平成28年)12月に

衆議院の本会議場で同法案が可決される瞬間、周囲の同僚議員達から「いよいよ山本法案が成立するね」と冷やかされたほどであった。そして、山本が取り組んだ議員立法「休眠預金活用法」は、2018年（平成30年）1月に施行され、同法により、2009年（平成21年）1月1日から10年以上、入金等のない休眠預金（普通預金、定期預金、貯蓄預金等）は、2019年（平成31年・令和元年）から民間公益活動に活用されることとなった。活用分野は、①若者支援②生活困窮者対策③地域活性化とし、預金の性質上、幅広く国民に還元できるようにになっている。

小さく産んで大きく育てる

休眠預金の取りまとめを行う

指定活用団体として公募で選ばれたJANPIA（ジャンピア：一般財団法人 日本民間公益活動連携機構）は、2019年（平成31年・令和元年）に資金分配団体の公募を実施し、49団体から67事業の申請があり、22団体の24事業が選定され、助成総額は約30億円となった。選定された資金分配団体は、各地の現場で、①若者支援②生活困窮者対策③地域活性化の分野で活動している実行団体の公募を行い、これまでに501団体から申請があり、133団体が選定され、休眠預金が順次各地に届き始めている。

2020年（令和2年）の資金分配団体の公募では、42団体から43事業の申請があり、20団体の20事業が選定され、助成総額

は約33億となった。今後、各資金分配団体は、前述の3分野で活動している実行団体の公募、審査、選定を行い、選定された実行団体は、同年度中に全国各地で休眠預金を活用した活動を開始することになる。

ここで、賢明な読者であれば、「あれ？毎年500億もの休眠預金が発生しているのに約30億程度しか活用されないの？」と感じたのではないだろうか。しかし、日本で最大規模の助成団体である日本財団ですら助成総額は、年間200～300億程度である。国内の助成団体の二番手以降は、桁が変わり50億と二気になる。そのような状況下で、新たな試みとしてスタートを切った休眠預金の活用が、いきなり数百億規模で実施できる訳がない、と判断した



▲コロナ対策の休眠預金議連緊急役員会議

山本は、当初から「小さく産んで、大きく育てる」との思想を立法者の意思として強く訴えてきた。議連のメンバーからも多くの賛同の声を貰い、その意思が反映された形となった。休眠預金は、あくまで預金者のものであり、請求があれば、過去にさかのぼって利息も付けて預金者に払い戻す制度にした。従って、あらゆる預金者から批判されるような休眠預金

の活用方法であつてはならない。細心の注意を払って活用していかなければならず、開始時から大規模に行うにはリスクが高過ぎると判断した結果なのである。

素早い状況判断 迅速な対応能力

2019年(平成31年令和元年)の12月頃には新型コロナウイルスが話題に上り始めており、日本で最初の感染者が報告されたのは翌2020年(令和2年)の1月、政府が緊急事態宣言を発令したのが4月のことであつた。議連の事務局長である山本の動きと判断も早かつた。緊急事態が宣言された4月には、議連の緊急役員・実務者会議を開催し、コロナ対策で休眠預金を活用すべく協議を行った。その結果、

2019年の選定を受けた事業に關しても新たにコロナ対策として費用が発生している場合も考えられるので、それに対する助成額の増額、加えて、2020年は、通常の助成枠とは別に「コロナ対策枠」を設けること、更には、その特別枠に關しては、従来の要件を緩和し、スピーディーに選定作業を行い、単年度で行うべきであるとJANPIAに申し入れを行った。

JANPIAも議連の意向と世界の状況を真摯に受け止め、「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」として助成総額40億の枠を新たに設けてくれた。既に、この新たな枠組みに対して資金分配団体の公募が行われており、42団体から42事業の申請があり、20団体の20事業が選

定され助成総額は約16億となった。各資金分配団体は、実行団体の公募を順次開始しており、これまでに443団体の申請があり、うち128団体が選定済みである。現在も随時公募とし、申請を受け付け中である。世界がコロナによって未曾有の状況下に陥っている中でも、全国各地の現場で、①若者支援②生活困窮者対策③地域活性化の分野で踏ん張って活動している実行団体へ確実に休眠預金による支援の手が差し伸べられているのだ。

強きを挫き弱きを助ける 政治信条の弛まぬ実践

コロナ禍においては、ありとあらゆる分野において影響が出ている。今まさに本誌を読んでいる貴方もその影響下にあるだろう。それは、ビジネスセ

クター(民間企業)は、もとよりソーシャルセクター(社会的企業、NPO等)も同じであり、山本は、いち早くそこに思いを馳せたのである。そして、今こそ休眠預金の活用にソーシャルセクターの活路を見出すべきだと考えたのである。例えば、子ども食堂のような活動は、そもそも利益を考えて行っているような活動ではないが、社会的に意義のある活動であり、それにより救われている人が沢山いるのは紛れもない事実である。そして、そのような活動も等しくコロナの影響により大きな打撃を受けているが、公的な支援は、どうしても先ずはビジネスセクターを助け、社会経済の主体を救うことに優先順位を高く設定してしまう。それ自体は、決して間違っていない。だが、休眠預金の活用は、そのよ

うな公的支援では、カヴァーしきれないが、あと少しの手助けで助かる人がいる活動に手を差し伸べるところに意義がある。まさに今、そのような局面で休眠預金の活用が出来るのは、山本があきらめずに議員立法を行い、そして、議連の事務局長として現在も実務を行っているからだ。

今回の休眠金活用における「新type コロナウイルス対応緊急支援助成」を新たに設けたことは、山本の日頃の政治信条である「総じて政道の極意と申すは、弱きを助けその強きを挫き、今目前の利を得ずとも」を図らずとも体現した結果と言えるだろう。引き続き、山本には、その政治信条を貫き通して欲しい。そして、その活動ぶりを本誌でも報告し続けたい。



駅で「ぽれぽれ通信」を お配りしております **駅頭活動報告**

「頑張っ！」「また防衛省に戻ってよ」
「期待してます」など
本日も沢山のエールを頂きました。

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞆と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



前回の「ぽれぽれ通信」配布数

11月・12月集計分

駅名	11月	枚数	12月	枚数	前月比
逗子駅	5日(木)	126	1日(火)	284	↑
逗子・葉山駅	4日(水)	232	15日(火)	98	↓
鎌倉駅(東口)	9日(月)	259	3日(木)	128	↓
鎌倉駅(西口)	6日(金)	277	4日(金)	255	→
大船駅(西口)	26日(木)	324	7日(月)	338	→
大船駅(モノレール口)	11日(水)	312	18日(金)	144	↓
大船駅(東口)	27日(金)	208	17日(木)	122	↓
大船駅(笠間口)	24日(火)	358	16日(水)	113	↓
本郷台駅	16日(月)	381	14日(月)	134	↓
港南台駅	17日(火)	143	11日(金)	62	↓
	11月配布合計	2,620	12月配布合計	1,678	↓

アドレスは「ぽれぽれ」

twitter、Facebookも本人がやっています
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



twitter
@ty_polepole



facebook
facebook.com/ty.polepole

鎌倉市議会議員選挙 自民党公認候補決定!



志田一宏

党鎌倉支部 青年局長



もり功一

党鎌倉支部 政調会長



お願い

鎌倉市内の
ポスター掲示
にご協力下さい。



伊藤倫邦

党鎌倉支部 広報局長

応援メッセージ

伊藤、森、志田の3名の鎌倉市議会議員は、全員一期目の4年間で各々の問題意識と各地域の市民の皆様からの声を市政に反映するために真摯に取り組み、また自由民主党所属の議員としても党務に励み、県政とは永田まりな県議会議員と国政においては私衆議院議員の山本

ともひろと連携し、市・県・国と一体となり鎌倉市の発展に努めてきました。従って、我々自民党は、この3名を自信と責任をもって公認しました。どうぞ、皆様のお力を彼らにお与えください。

衆議院議員 **山本ともひろ**

上記、お願いで示したポスターを現在、鎌倉市内に掲示しております。
掲示場所をご提供いただける場合は、P7の山本ともひろ事務所までご連絡下さい。

山本ともひろプロフィール

経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成30年 自民党 国防部長 就任
- 令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任

自由民主党 衆議院議員(4期 12年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)

昭和50年(1975年)生まれ
45歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

国会見学案内実施中!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。



ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



山本ともひろ事務所リスト

- 本部事務所** 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943
- 国会事務所** 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和3年(2021年)1月12日発行 第56号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぽれぽれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPIにも掲載しておりますのでご覧ください。